



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台天文シミュレーションプロジェクト助教

1. 研究教育職員助教1名
2. (1) 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト
(2) 東京都三鷹市
3. シミュレーション天文学
4. 国立天文台天文シミュレーションプロジェクトでは、大規模シミュレーションを用いたシミュレーション天文学およびそれにかかわる分野での研究・開発を進めています。2018年6月には計算機システムのリプレイスがあり、スーパーコンピュータは従来の約3倍の計算能力となります。共同利用計算機システムの運用や大規模シミュレーションのためのソフトウェア開発などに貢献しつつ、自らのシミュレーション研究を進めることができる助教を求めます。理論研究部にも所属していただきます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります）
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（e-mailアドレス含む）、(2) 研究歴（個人としての研究業績のほか、多人数で行った研究・開発プロジェクトがある場合は果たした役割やその成果を具体的に記述してください。また、

大規模ソフトウェアの開発やPCクラスタ等の構築・運用の経験があればそれについても記述してください）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別すること）、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先

8. 2018年5月7日（月）17時（日本時間）必着。
9. (1) 応募書類を apply-cfca-assis20180507@nao.ac.jp まで、メール件名を「天文シミュレーションプロジェクト助教応募」とし、添付ファイルで送付してください。
(2) 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト長 小久保英一郎
e-mail: jinji2018@cfca.nao.ac.jp
10. ・すべての応募書類（上記7.の(1)～(5)）はPDFファイルに変換し、メールに添付すること。
・PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること（メール1通につき最大10MB程度まで）。
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-cfca-assis20180507@nao.ac.jp へお問い合わせください。
・選考にあたっては面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。
11. ・給与待遇は年俸制になります（年額の12分の1を月額支給）。
・選考は国立天文台運営会議で行います。
・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

研究会・集案案内

茨城大学宇宙科学教育研究センター／
国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局
第9回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市にまたがってある32mパラボラアンテナ2基は、衛星通信アンテナから電波望遠鏡へのアップグレードがなされ、日本・東アジアVLBIの主要施設として、国際的に優れた天文学研究の成果を上げています。

子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと考え、今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2018年4月15日(日) 11:00-15:00(雨天決行)

場所：茨城県高萩市石滝627-1

(さくら宇宙公園内)

茨城大学 理学部・宇宙科学教育研究センター

国立天文台 水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催：茨城大学

共催：国立天文台

後援：高萩市教育委員会(いきいき萩っ子育成事業)、高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観光物産協会

協賛：茨城県北ジオパーク推進協議会

内容：パラボラアンテナ施設見学(11:00-15:00)、4

次元シアター(11:00-12:30)、

講演「電波望遠鏡で探る巨大ブラックホール」

(秦和弘[国立天文台水沢 VLBI 観測所 助教])

(13:30-15:00)

受付：施設見学は開催時間中随時受付。講演会は先着100名13:00より受付。

参加料：無料

アクセス：

[1] 鉄道：JR常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学園高萩キャンパス前(約8分)下車、徒歩約10分

[2] 乗用車：常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより

高萩市街方面約15分9km、明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり600m先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可

注意：アンテナ見学は動きやすい服装、靴で参加ください。

問合せ：茨城大学理学部・宇宙科学教育研究センター
〒318-0022茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

e-mail: infoast@ml.ibaraki.ac.jp

URL: http://www.asec.ibaraki.ac.jp/

国立天文台野辺山宇宙電波観測所「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45m電波望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います(総合研究大学院大学「夏の体験入学」)。当観測所は、45m望遠鏡を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果をあげています。この「電波天文観測実習」は、45m電波望遠鏡だけでなく、国立天文台チリ観測所が観測を開始したアルマ望遠鏡を使った最先端研究に携わる研究者の指導のもと、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのがねらいです。参加者には普段研究者が行っている45m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をお持ちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2018年6月4日(月) 13:30-6月8日(金) 11:30(4泊5日)

2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所(JR小海線野辺山駅から徒歩40分)

3. 定員：8名程度

4. 対象：大学の理科系学部(教育学部の理科系も含む)に属する学生(1-4年生)

5. 費用：旅費・滞在費がサポートされる可能性があります

6. 応募方法：住所、氏名(ふりがな)、所属大学および学部・学科、学年、生年月日、年齢、性別、電話番号、e-mailアドレス(持っている場合)を明記の上、以下の(1)-(4)に回答し、**4月16日(月)**必着で下記の応募先まで送付してください。なお、送付された資料は返送いたしません。

(1) 大学で物理実験の経験がありますか?

(2) (1)で「はい」と回答された場合、一番印象に残った実験は何ですか? どのような点で印象に残ったのですか?

(3) あなたが持っている天文学への想い・イメージ

ジについて何でも結構ですのでお書きください
(600字以内)

(4) 実習に参加希望の理由は何ですか？(600字以内)

7. 選考結果：5月初旬頃、郵便で発送 ※6の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと
8. 応募先・お問合せ先

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」
※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書してください

TEL: 0267-98-4332

ウェブサイト <http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

会務案内

2017年度日本天文学会各賞について

2017年度日本天文学会各賞は、2018年1月20日および2月12日の代議員総会で次のように決定しましたのでご報告いたします。

◇林忠四郎賞(1氏)

柴田大(しばた まさる)氏：京都大学基礎物理学研究所・教授
研究の表題「数値相対論による連星中性子星合体の研究」

◇欧文研究報告論文賞(2編)

- 論文題目：Local Enhancement of the Surface Density in the Protoplanetary Ring Surrounding HD 142527
著者：Misato Fukagawa et al.
出版年等：Vol. 65, No. 6, article id. L14, 2013 December
- 論文題目：Systematic X-Ray Analysis of Radio Relic Clusters with Suzaku
著者名：Hiroki Akamatsu and Hajime Kawahara
出版年等：Vol. 65, No. 1, article id. 16, 2013 February

◇研究奨励賞(3氏)

- 井上芳幸(いのうえ よしゆき)氏：理化学研究所上級研究員
研究の表題：「宇宙ガンマ線背景放射をはじめとする活動銀河核高エネルギー現象の研究」
- 富田賢吾(とみだ けんご)氏：大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻・助教
研究の表題：「輻射磁気流体シミュレーションによる原始星とその星周円盤形成過程の理論的研究」
- 松岡良樹(まつおか よしき)氏：愛媛大学宇宙進化研究センター・准教授
研究の表題：「超大質量ブラックホールの進化に関する観測的研究」

◇天体発見賞(4氏, 13件)

- 板垣公一(いたがき こういち)氏10件
超新星2017hrの発見, 超新星2017cjbの発見, 超新星2017czdの発見, 新星V3662 Ophの発見, 超新星2017dzsの発見, 超新星2017erpの発見, 超新星2017gwwの発見, 超新星2017ijxの発見, 超新星2017ivuの発見, 超新星2017jbjの発見
- 嶋邦博(しま くにひろ)氏1件
超新星2017Bの発見
- 中村祐二(なかむら ゆうじ)氏1件
新星V3663 Ophの発見
- 西村栄男(にしむら ひでお)氏1件
新星V1657 Scoの発見

◇天体発見功労賞(1氏, 1件)

- 金子静夫(かねこ しずお)氏1件
新星V3663 Ophの独立発見

◇天文功労賞

- 長期的な業績（1氏，1件）
- ・富岡啓行（とみおか ひろゆき）氏
「小惑星による恒星食の多数回観測と小惑星の衛星の検出」
- 短期的な業績（1氏，1件）
- ・小嶋正（こじま ただし）氏
「おうし座の重力マイクロレンズ現象の検出」

日本天文学会年会に関するアンケート実施中

日本天文学会の年会事業に関して、現在の年会のやり方、および今後の年会の運用方針についてのアンケートを実施しています。

本アンケートの集計結果をもとに今後の年会のあり方について理事会にて議論し、今後の年会事業の運営に反映させていく予定ですので、皆様のご協力をお願いいたします。詳しくは、学会ホームページをご覧ください。

計 報

古在由秀氏（元理事長）は2018年2月5日にご逝去されました。満89歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員の守山史生氏（元副理事長）は2018年2月23日にご逝去されました。満90歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード（5桁の数字と）**vol111**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕（委員長）、上野悟、岡部信広、奥村真一郎、押野翔一、滝脇知也、富田賢吾、中村航、萩原喜昭、松田有一、諸隈智貴、山田真也

平成30年3月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2018年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）